

ファクトシート：子供が特殊教育の対象となるかどうかを判断するための評価（初回評価）

初回評価とは？ 初回評価とは、お子さんの状況の総合的な個別評価のことです。お子さんが特殊教育サービスの対象となるかどうかを判断するため、学校はさまざまなテストツールや収集データを使います。

知っておくべき事柄:

- 学校が評価を実施するためには、事前に保護者の許可を得なければなりません。保護者は用紙に署名するよう求められます。用紙には学校が行うテストの種類が記載されています。
- 学校は保護者から同意書に署名をもらった日から60日以内に、特殊教育および関連サービスの対象となるかどうかを判断します。評価を依頼する手紙を送っただけでは、同意したものとみなされませんのでご注意ください。学校は、保護者の署名した同意書が「インフォームドコンセント」であること、つまり実施されるすべてのテストの種類、実施される理由、およびそこから期待されることについて、学校が保護者に説明したことを確認する必要があります。
- 学校は、生徒の学習時の困難を手助けするためにどのようなことを行ったかを保護者に示す必要があります。学校は、生徒の学習を手助けするために採用したさまざまな戦略や方法、およびお子さんの学習レベルに向かっての進歩が十分ではないことを示すデータを記録しなければなりません。これはしばしば、教育介入への応答 (Response to Intervention (RtI))あるいは、学業介入ピラミッドと呼ばれます。RtIは、学習あるいは行動に懸念のある場合に使用されます。評価の依頼があったときに学校側にこの情報がない場合、評価期間中にこの情報が収集されます。
- 特殊教育および関連サービスの対象となるかどうかは次の二つの要因に基づき判断されます。(1)障害があるかどうか(以下の12の区分で定義)、また(2)その障害が生徒の教育(学業、身体機能および(または)発達分野)に影響を与える障害であるかどうか。お子さんが特殊教育および関連サービスを受けるためには、一つ以上の資格区分の要件を満たしていなければなりません。障害に関する医学的な診断と教育目的の診断の多くは類似していますが、まったく同じではありません。医学的な診断を受け、学校に提出した場合も、通常、学校はデータ収集のために評価を行う必要があります。
 - 教育目的の障害の区分は以下のとおりです。自閉症、聾啞と盲目、聾啞/難聴、情緒的行動障害、軽度・中度・重度・最重度知的障害、整形外科的欠損、その他の健康上の障害、重度の発達の遅れ(9歳まで)、特定の学習障害、発話障害、外傷性脳損傷、視角障害。医学的に障害を診断されている子供は、しばしば、これらの区分のいずれかの対象となります。
 - 上記の質問の両方について答えが「はい」ならば、お子さんは、保護者も含めた複数の人で構成されるグループにより、特殊教育および関連サービスを受ける資格があると判断される可能性があります。
 - 生徒に特殊教育および関連サービスを受ける資格がある場合、30日以内に個別教育計画(Individualized Education Program (IEP))が作成されます。
 - お子さんの資格に関するチームの決定に異議のある場合、「異議解決」手順を使って、決定の変更または意見の相違の解決を求めることができます。
 - お子さんが特殊教育および関連サービスの対象とならない場合も、学校は「生徒サポートチーム」(Student Support Team (SST))や504プランなど、生徒サポートのための他の方法を検討します。
- お子さんの初回評価は、公立学校、私立学校または保護者を通じて、委託されます。
 - 居住している場所以外の公立学区内の私立学校に通う子供の評価は、その私立学校がある学区内の公立学校により行われる場合があります。
 - 家庭内教室、私立学校、公立学校のいずれに通うかにかかわらず、すべての生徒に60日間の期限が適用されます。

ファクトシート：子供が特殊教育の対象となるかどうかを 判断するための評価（初回評価）

ご家族のための助言：

- ✓ 評価の依頼は必ず、書面で行ってください。担任の教師、校長および特殊教育ディレクターにそのコピーを渡してください。
- ✓ 他のプログラムや専門家からお子さんに関する報告書や評価書を受け取っている場合は、保護者が希望する場合、それらも資料として提供することができます。
- ✓ 評価プロセス中、保護者はどのように関わられるのか、またどのように情報を提供できるのかを尋ねてください。
- ✓ 何を期待すべきかを理解するため、以下のような質問をしてください。
 - なぜうちの子の評価をしてほしいのか。
 - うちの子の評価が行われなかった場合、どうなるのか。確認された問題について手助けを得ることができるのか。
 - 評価によってどのようなことが得られると思うか。
 - どのような種類のテストが使用されるのか。どのような分野がテストされるのか。
 - 教室で誰かがうちの子を観察して、担任教師と話をするのか。
 - 誰がうちの子の評価を行うのか。評価をする人は、うちの子と同様のケースの子供をテストした経験があるのか。
 - うちの子に通訳が必要か。(必要な場合、テストは生徒の母国語または手話で行わなければなりません。)
 - 書面での評価結果はいつ受け取れるのか。
 - 評価結果に納得できない場合はどうしたらよいか。
- ✓ 評価報告書が送られてこない場合、請求してください。
- ✓ 評価結果について理解できない場合は、説明を求めてください。

詳細な情報については以下にご連絡ください。

Parent to Parent of Georgia
770 451-5484 または 800-229-2038
www.parenttoparentofga.org

Georgia Department of Education 特殊教育サービス支援局 (Divisions for Special Education Services and Supports)
404 656-3963 または 800-311-3627 に電話し、「特殊教育」("Special Education") に電話を回すよう伝えてください。
http://www.gadoe.org/ci_exceptional.aspx

Georgia Department of Education 実施マニュアル
http://www.gadoe.org/ci_exceptional.aspx?PageReq=CIEXCImpMan
(早期介入から公立学校への移行の章を参照してください。)

その他の情報源：学区の**特殊教育ディレクター** にご相談ください。